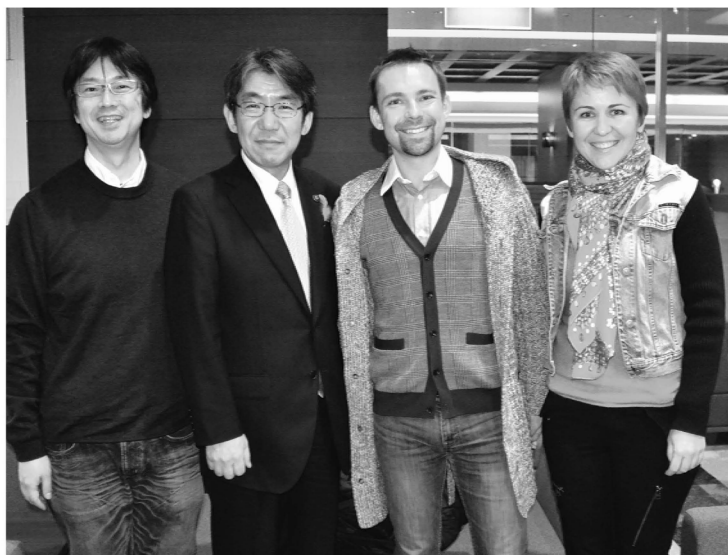


▽建築板金 宮下浩徳 の大谷亨道議のあいさつに



釧路市内のホテルで面会した石井さん、蝦名市長、エゴール夫妻（左から）

活用したバイオガス発電の推進、鶴居村は道営草地球場事業の継続などを求めた。

各団体からの要望に理解を示し実現に向け意欲を示す伊東支部長

実現していきたい」と理解を示した。小松道議は特に地域資源の有効活用につい

ロシア旅行雑誌

編集長夫妻が来釧

人や自然、食の魅力取材

ロシアで旅行関係の雑誌編集に携わるエゴール・アポロフさんと妻のアナさんが7日から3日間の日程で釧路市を訪れ、食や自然

人の魅力を取材した。観光庁の招聘（しょうへい）事業に伴い初来日したもの

で、蝦名大也市長とも面談し「これ以上の良い経験はありません」などと感想を語った。

エゴールさんは、ロシア最大の日刊紙コメルサントの旅行版雑誌の編集長。アナさんはロシアのフランス

アエロ航空の機内誌の旅行担当編集者。観光立国推進有識者会議の委員で北海道観光振興機構のアドバイザ

ーでもある釧路湖陵高校出身の石井至さんも通訳として同行している。

エゴール夫妻は4日來日。東京滞在の後、7日來釧し阿寒湖アイヌシアターイコロで「イヨマンテの火まつり」を鑑賞するなどアイヌ文化について取材。8日には阿寒湖遊覧船に乗船したほか、地元の彫刻家と

面談。丹頂鶴自然公園でタシチョウを視察した。

夫妻は同日夜に蝦名市長と面会。エゴールさんは「阿寒湖のホテルの素晴らしい対応などおもてなしの心に感激した。日程はハードだが頑張つて取材し日本をさらに理解したい」と意欲を語り、蝦名市長も釧路の魅力のアピールし、写真集と地酒をプレゼントした。

世界各国を知るエゴールさんは本紙の取材に対し、国の特別天然記念物マリモが生息する阿寒湖の世界自然遺産登録運動が進んでいることについて、「マリモは特別な存在であり、阿寒湖が選ばれるチャンスは十分ある」との見解を示した。

（高田薫）

学習の楽しさ知って

「イベント」モノづくりに挑戦

ラントを楽しんでいた。

特に今回は、子どもたち

に生涯学習の楽しさを味わ

ノかんたんラジオ」などが行われ、大勢の子どもたちがモノ作りに挑戦していた。

また、健康効果が期待される「ゆる体操体験講座」

81へ。（奥山哲也）

（高田薫）

東梅



今井



釧路市 差点で 役員中 普通習 うとし 側から 路町、 (76)が た。こ 骨盤や った。 場は信 差点で を調べ